

課題研究の研究成果「ますのすし折り紙」

5月26日(火) 16:30～

富山テレビ ライブBBTにて放送予定

昨年度の卒業生3名が、2年次に「SS発展探究 α 」、3年次には「SS発展探究 β 」と放課後を中心に取り組んだ課題研究の成果の一部である『ますのすし折り紙』が富山テレビにて紹介されます。また、日本財団「海と日本プロジェクト」の企画「stay home with the sea」のホームページにも掲載予定です。

ますのすし折り紙は、研究テーマ「正 n 角形ねじり折り — 折り方の総数の一般化と『富山ブランド』の魅力発信 —」の中で生み出されたもので、デザインは本校美術部の生徒（現3年生）が担当しました。この研究は「第7回算数・数学の自由研究作品コンクール」最優秀賞である塩野直道賞を受賞し、北日本新聞にてますのすし折り紙の特集が組まれました。

3月25日には、地元企業（株式会社源）と連携し、数学と富山県の魅力を組み合わせた素晴らしい学習研究により全国に認められる顕著な成果を収め、元気とやまのイメージを強く発信するとともに、本県への注目度の向上に多大な貢献したとの理由から、本県では第2号である「若者地域貢献イメージアップ特別賞」を石井知事よりいただきました。



石井知事に折り方を説明



受賞者記念撮影